



水谷山 寶清寺

★秋の諸行事

★竜の口こ法難会

九月十二日 (水)

宗祖日蓮聖人が竜の口の刑場に送られるとき、一人のお婆さんが聖人にぼた餅を供養したと言ひ伝えにより、ぼた餅をつくってお供え致します。このぼた餅を食べると、厄除けになるとも言われています。当山ではお題目講の方々を中心に、この行事を行っています。

★秋のお彼岸

九月二十日 ()

二十一日

「彼岸」とは利害損得を超越した「さとり」の世界で、そこにたどり着くには、お釈迦様の教えである「六波羅蜜」をふだんの生活の中で実践することが大切だと説いています。先祖のお墓参りをし、自身を省みる機会にしたいものです。

★お会式

十月十二日 (金)

「お会式」は宗祖日蓮聖人の忌日に営まれる法会で、今日では宗門最大の行事となっております。聖人は弘安五年(一二八四)十月十三日の朝、武蔵の国池上の地で六十一歳の生涯をとりられました。ご入滅の聖地池上本門寺のお会式は有名です。当山では、十月十一日午後二時と七時の二回報恩の法要を厳修致します。当日は地粉で作ったうどんの用意もあり、屋台の店も出て、夜九時頃まで大変賑わいます。当日、家内安全・交通安全・厄除け・子育て鬼子母神の祈願も致します。

★お彼岸に

塔婆建立の起源を

お塔婆建立の起源についてはいろいろな説があるようです。その中で最も有力な説は、お釈迦様の十大弟子の一人である舍利仏が亡くなった時、弟子達がその供養についてお釈迦様にたずねたところ、種々の華香を供え、お塔婆を建てて供養するようにと言われたのがお塔婆の建立の起源とされています。その様式がインド→中国→日本に伝えられ、簡略実用のために、現在の木製のお塔婆となり法事やお盆・彼岸などの供養の時に建てられるようになったのです。お釈迦様は、法華經の神力品の中で、「塔を建てて供養すべし」と説かれています。そして、お塔婆は「管理寺務所で行いますのでお申し出下さい。」

お彼岸のお塔婆の申し込み

お彼岸は、同封のお塔婆申込み専用はがきにて、早めにお願ひ致します。(同封の料金を受取人払いのはがきは投函してからお寺に配達されるまで四・五日掛かります。)

建墓工事について

旧檀家の方で、そろそろお墓を建てたいとお考えの方や、お墓が古くなり建て替えや修理をお考えの方は、指定の石材業者と契約しておられますので、ご自分の判断で指定業者以外の方へ依頼せず、管理寺務所にご相談下さい。

戒名彫刻について

お墓完成後に墓石に戒名彫刻をされる場合は、どの石材業者で建墓された方でも、全ては、どの石材業者で建墓された方でも、全てお寺に彫刻をお願い致します。

(法事をつとめる意義について)

日本人の精神史の中で、法事ははたしてきた役割りは非常に大きいと思われれます。親の年回忌の法事で遠くから兄弟が集まる時、ふだん疎遠にしていた親戚・知人と顔を合わせる時、なんとも和やかな空気に包まれ、日ごろのあくせくした生活から開放された気持ちになります。ご宝前にぬかずき、今は亡き人を想えば、自ら掌を合わせずにはいられない気持ちになります。私達がこの世に生まれ今日あるのは、ご先祖が苦難の道を乗り越えてきたお陰であること忘れてはなりません。この故人の冥福を祈り、感謝・報恩のところで供養するのが法事供養(追善供養)なのです。しかし、法事を懐古的感傷だけでなく、もう一歩進んで、そこから正しい教えに触れていくことが大切です。読経・儀式の厳肅な雰囲気の中で、日々の生活に活を反省する機会にしたいものです。わたしたちの毎日は、時々の出来事に一喜一憂し、自分自身を見つめるまもなく時を過ぎていきます。この己を忘れ、己を見失った生活を仏様になられたご先祖は悲しい思いで見つめているものと思えます。更に、ご先祖は子孫の私達が、「本当の人間」らしい人生を歩んで欲しいと願っています。に違いありません。ご先祖の願いを深く想い、その願いに目覚める縁を戴くこそ法事をつとめる大きな意義だと思えます。供養心こそ功德の始まりなのです。

「ありがとう」(有り難いこと)

現在、「ありがとう」は感謝の心を表わす言葉として使用されています。英語で言えば「サンク・ユー」、ドイツ語では「ダンクシェン」です。英語やドイツ語のこの言葉も「あなたに感謝する」という意味ですが、本来、日本の「ありがとう」は、「あなたに感謝します」とは違うようです。この言葉は漢字の「有り難い」からきており、その語源は「有りがたし」とされています。「有りがたし」は仏教の考え方で、因縁による巡り合いという思想を含んでいます。因みに、「有りがたし」は、「有りそうにない、貴重なこと」を意味しています。従って、「ありがたう」とお礼を言う事は、めったにない機会を喜ぶことでもあるのです。そういう意味で「ありがたう」はまことに意味深い言葉と言えます。

寺務員の再移動

十月十五日(土)の泊二日、会津東山温泉に泊まり、阿賀野川と五色沼を巡るコースです。詳細は寺務所におたずね下さい。

墓参用の生花

墓参用の生花は、三月と九月の両お彼岸と七月のお盆の年三回は寺務所で購入出来ます。その他の墓参時は各自ご用意下さい。

